

平成 23 年度 法科大学院（法務研究科）既修者認定試験

公法（憲法・行政法）問題紙

B日程

平成 23 年 2 月 27 日

13 : 30～15 : 30（120 分）

（180 点）

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題を開いてはいけない。
2. 公法の問題紙は 1 ページから 2 ページである。

科目名	ページ
憲 法	1
行 政 法	2

3. 解答用紙は、2 枚である。解答用紙の追加は認めない。

科目名	枚数	配点
憲 法	1 枚	100 点
行 政 法	1 枚	80 点
合 計	2 枚	180 点

4. 解答用紙は 2 枚ともかならず提出すること。
5. 監督者の指示に従い、すべての解答用紙に受験番号と氏名を記入すること。
6. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
7. 試験終了まで退室してはいけない。

北 海 学 園 大 学

憲 法

(配点 100 点)

問題

人権規定の私人間効力について判例にふれながら論じなさい。

行政法

(配点 80 点)

問題

行政裁量を次の観点から説明せよ。

- 1 裁量の意義
- 2 行政庁に裁量が認められる必要性
- 3 行政庁の判断過程のどこに裁量が認められるか。
- 4 裁量権の逸脱・濫用
- 5 裁量の逸脱・濫用の判断基準